

な～に谷っ戸ん田 4年目の38回目 落ち葉かき・竹林の整理ほかー

と き： 平成23年1月15日(土) 9:30～16:15

ところ： 谷っ戸ん田上の雑木林・堀の内畑・竹林

天 気： 曇り

参加者： 石田、オズ、加藤、佐々木母、高橋、藤田（午後）、松本純、吉田（午前）、オズゲストの関口さん・松下さん、「草莽の会」の人々11名（午後） 計21名

活 動：

【午前】

- ・先週集めた落ち葉の一部を田んぼに移す。堆肥を落ち葉の上にかぶせる作業も行う。
- ・先週と同様に落ち葉かき。シートに落ち葉を集め、みんなでそれを堆肥の山に運び、堆肥と混ぜあわせる。
- ・午前で帰る人もいたので、堀の内畑のかぶ・菜花・小松菜の収穫を松本・加藤が担当。
- ・堀の内畑の収穫後、松本・加藤は石田さんと合流し、てつさんの甥御さんのお悔やみに。

【昼食】

谷っ戸ん田に戻って、各自、お弁当。

【午後】

- ・堆肥の脇に置かれた剪定後の木や枝を田んぼで燃やす。銀杏の枝が燃えにくく、苦労したが、オズゲストのお二人の活躍もあって、ようやく勢いが出てくる。松本・佐々木・加藤は火の番をしながら燃やし続ける。枝を運んでいるとき、先週行方不明だった帽子が出現。持ち主の松本さんは大感激の様子だった。（車のキーも帽子も出てくるんですね。これも松本さんのお人柄かも）
- ・「草莽の会」の人々11名が到着し、周辺の案内後、竹林の整理に。昨年間伐したエリアが荒れてきているため、石田さんが刈り払い機で草を刈り、「草莽の会」のメンバーがそれを熊手などで斜面の数カ所に集める。高橋・オズ・オズゲストが合流後は以前切り倒してあった竹の斜面おろしを行う。チップーにかけられそうな腐った竹、細い先端部・枝をおろす。堅い竹は斜面の数カ所に引き続き積み、腐るのを待つことにする。最後には高橋さんを先頭に「草莽の会」メンバーが一行になり、竹を斜面に降ろすリレーシステムが完成。美しい一列だった。また、積んだ竹の間に生えてきた笹は鎌で切り、枝が残って積みにくい竹は松下さんが持参ののこぎりで枝を落とした。
- ・曇り空で寒い一日だった。午前は参加者も多くなく、何となくどんよりしていたが、午後は若いメンバーが集まり、作業がおおいにはかどった。
- ・その後、シャベルを洗って片付け、さらに石田さんはグリーンに戻って刈り払い機などを片付け。

次回の予定

1月22日 午前9時30分～ 落ち葉かき・大豆の選別など
午後2時～ グリーン講演会・アフリカンダンス・交流会など

記録・加藤 彰